業界・規模問わず
すべての企業が対象

MOTEX LANSCOPE Professional Service

経済産業省「セキュリティ対策評価制度」が始まります

～セキュリティ対策は比較可能に。取引先をセキュリティで選ぶ時代、生き残るにはセキュリティ投資が不可欠～

経済産業省がサイバーセキュリティ対策状況を“格付け”する新制度を発表
「信頼できる企業」と「そうでない企業」が 星の数 で区別されるようになります

【SECURITY ACTION】
セキュリティ対策に
取り組むことを**自ら宣言**

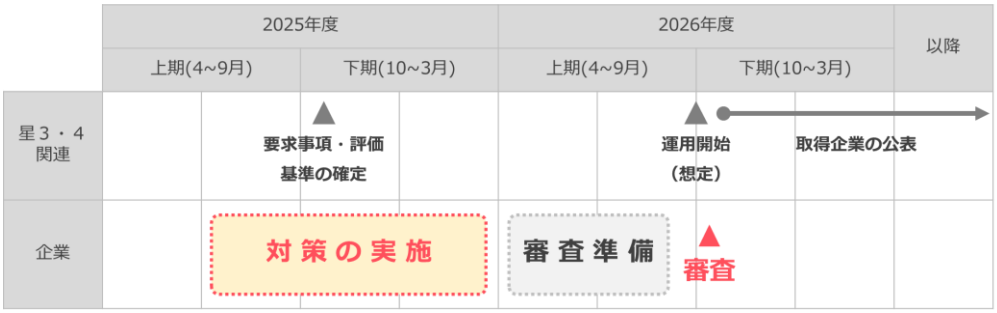
【セキュリティ対策評価制度】
基準に適合する対策が実施できている
ことを**チェック・認定**

	★1	★2	★3	★4	★5
概要	情報セキュリティ5か条 取組むことの宣言	自社診断＋基本方針 ※ 取組むことの宣言	最低限実装すべき セキュリティ対策	標準的に目指すべき セキュリティ対策	到達点として目指すべき セキュリティ対策
対象	全ての企業	全ての企業	全ての企業	発注者から 見た重要な企業	未定
評価	自己宣言	自己宣言	自己評価 （専門家による評価）	第三者評価	未定
項目	–	–	25項目	44項目	未定

※「5分でできる！情報セキュリティ自社診断」と「情報セキュリティ基本方針」を策定し外部公開した上で、情報セキュリティ対策に取り組むことを宣言するものです。

いちはやく「セキュリティ対策評価制度」の認定を得ることで
企業価値の向上、ビジネス拡大 につなげましょう！

2024年4月に経済産業省は、サイバーセキュリティ対策の実施状況を5段階で格付けする制度を新設する方針を発表。2026年度中に開始が予定されています。★３～５でセキュリティ対策の実施状況を格付け。国内に統一基準で企業のセキュリティ対策実施状況を可視化できるようになる仕組みが整備されることで、取引先選定において「セキュリティの実施状況」の占める影響力がより大きくなると想定されます。



制度の詳細情報はオンデマンドセミナーで

ご視聴は以下のURLから

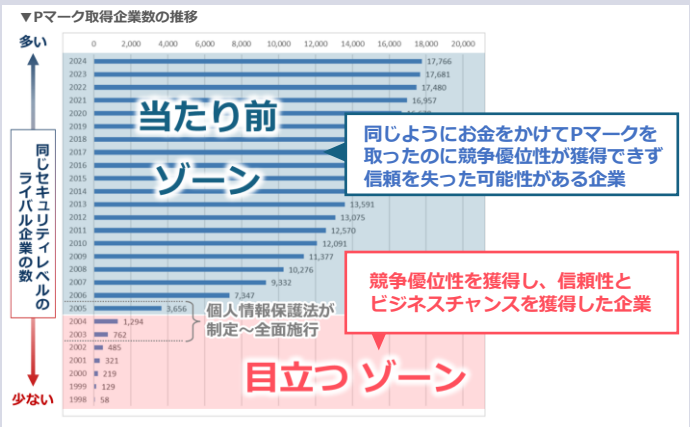
https://www.lanscope.jp/seminar/20250602_18730/

過去事例に学ぶ、認定制度で得するためのポイント

今では当たり前となった「Pマーク制度」の開始と浸透

Pマークは1998年に制度が開始し、2003年の個人情報保護法の制定から2005年の全面施行をきっかけに大きく取得企業数を伸ばしました。
2005年には3,656社だった取得企業数が、翌年2006年には7,347社と約２倍に増加しました。
制度開始初期の、ライバル企業が少ない段階から制度に対応していた企業は、それだけ多くのビジネスチャンスに恵まれたことになります。
「セキュリティ対策評価制度」でも同様の状況が想定されます。
ぜひ、いち早く星の認定を獲得し、ビジネス拡大に有効活用しましょう。

出典：日本情報経済社会推進協会（JIPDEC）プライバシーマーク付与事業者情報（2024年9月30日版）
https://privacymark.jp/certification_info/data/g7ccig0000000gll-att/pmark_data_20240930.pdf.pdf



効率的・効果的な推進のため、専門家の支援を受けることがおすすめ！
今すぐに「セキュリティ対策制度」の対策を進めるには？裏面をチェック →→→

経済産業省「サプライチェーン強化に向けたセキュリティ対策評価制度」への対策には

ガイドライン対応サポートアカデミー がおすすめです

「セキュリティ対策評価制度」に向けて今すぐに始めるべきアクション、
「①自社の現状把握」「②セキュリティ対策の正しい理解」「③対策方法やスケジュールの検討」を
企業のサイバーセキュリティ対策に詳しいセキュリティコンサルタントがサポートします

特長 1 プロ目線で対策の改善点を抽出

セキュリティ対策状況の振り返りができるチェックシート※1をコンサルタントが添削するサービスをご提供。改善のポイントをプロがチェックし、自社だけでは気づかなかった課題まで可視化できます。

特長 2 充実の支援で対策実行をサポート

分かりやすい解説動画をいつでも何度でも視聴可能。メール・Web会議での個別相談※2や、セキュリティ関連規程のひな形などお役立ちコンテンツもご提供。具体的な対策実行までサポートします。

特長 3 年間更新で継続的にサポート

最初のご購入（利用期間：9か月）の期間満了後は、1年単位での更新が可能。継続しやすい価格設定で、セキュリティ対策の定期的な見直し・改善を伴走支援。新たな脅威や変化への対応もサポートします。

※1：購入するパッケージにより、対象となるチェックシートが異なります。※2： Web会議での個別相談は回数制限があります

支援内容の概要

学習・現状把握	計画	改善	サポート
解説講座（アーカイブ配信）	カウンセリング（対策プログラム）	規程のひな型	個別相談（メール）
チェックシート		対策講座（アーカイブ配信）	
チェックシート添削		教育コンテンツ（理解度テスト含む）	個別相談（Web会議）
		運用支援ツール	

□ =学習コース ¥225,000：利用期間3か月　□ =実践コース ¥450,000：利用期間9か月

認定獲得のために新たにセキュリティ対策ツールの導入が必要な技術的な対策も

LANSCOPE プロダクト・サービス で解決!!

リスクの特定

資産管理	LANSCOPE Endpoint Manager Cloud	企業内のハードウェアやソフトウェアなどのIT資産の状況を把握して管理
脆弱性管理	LANSCOPE Endpoint Manager Cloud	ソフトウェアのセキュリティ上の脆弱性やその対策プログラムの適用を管理

攻撃等の検知

境界防御(F/W)監視	LANSCOPE 対応外	ファイアウォールを通過する通信を監視し、不正なアクセスや攻撃を検知
EDR/MDR	LANSCOPE Cyber Protection	PCやサーバーの不審な挙動を検知し、迅速な対応を支援

攻撃等の防御

バックアップ	LANSCOPE 対応外	セキュリティ事故の発生時に備えてデータやシステム設定を複製・保存しておく
ソフトウェアの無効化	LANSCOPE Endpoint Manager Cloud	不要なソフトウェアを無効化することで攻撃対象を減らし、セキュリティリスクを低減
アンチウイルス	LANSCOPE Cyber Protection	コンピュータウイルスやマルウェアなどのサイバー脅威からデバイスやネットワークを保護
境界防御(UTM)	LANSCOPE 対応外	ネットワークの外部と内部の境界で通信を監視・制御し、不正アクセスや攻撃を防ぐ
Webフィルタリング	LANSCOPE Endpoint Manager Cloud	インターネット利用時に危険サイトへのアクセスを制御
外部記憶デバイス制御	LANSCOPE Endpoint Manager Cloud	USBメモリや外付けHDDなどの外部記憶媒体の利用を制限・管理
ログの統合管理	データアナライザー	複数のシステムや機器から出力されるログを、一元的に収集・保存・分析
不正通信遮断(IDS/IPS)	LANSCOPE 対応外	ネットワークやシステムへの不正アクセスや異常な通信を検知・遮断
多要素認証(SSO)	LANSCOPE 対応外	システムへのログインのセキュリティ強度を高めるための対策
デバイス・機密データ暗号化	LANSCOPE 対応外	暗号化によりデータを保護することで不正アクセスや情報漏えいを防ぐ

エムオーテックス株式会社

【お問い合わせ】
ガイドライン対応サポートアカデミー担当　E-mail：sapo-aka@motex.co.jp